

科目名：臨床実習Ⅰ - 2<附属病院・歯科診療所>		必	7 単位
(Clinical training I -2) 履修年次/時期：3 年次 前期 授業形態：実習 担当教員：山本裕子 (実務経験有)、片岡あい子 (実務経験有)、関端麻美 (実務経験有)、長谷徹 (実務経験有)			
学修目的	口腔の専門職として、歯科衛生士に求められる「責任感」「誠実性」「積極性」「協調性」「判断力」を培い、歯科衛生士業務を実践できる能力を養う。 DP 1. (1)・(2), 2. (1)・(2)・(3), 3. (1)・(2)・(3) CP 1,3,4,5,6, に関連する。 科目 No. S3C13H06		
到達目標	1. 業務を実践するために必要な知識、技術を修得する。 2. メディカルスタッフの一員としての行動を身に付ける。 3. 対象者の問題点を総合的に把握し、解決できる能力を身に付ける。		
授業概要	臨床の場で歯科衛生士の基本姿勢を学修し、歯科衛生士業務を実践する。		
授業計画	I 神奈川歯科大学附属病院、神奈川歯科大学附属横浜クリニックにおける実習 【実習方法および内容】オリエンテーション時に概要説明を行う。 上記施設は障害者歯科・全身管理高齢者歯科、小児歯科、矯正歯科、先進歯科、口腔外科等の診療分野に分かれており、各科において実習できるように配当される。附属病院の口腔外科では病棟における実習も含まれ、看護師の患者への対応等も学修する。実施要項に各科の到達目標を示す。 【予習】配布された学修ノートや資料で、事前学修を行う。 【復習】実習した内容を正しく理解し把握するために、その内容、必要器材、手順、注意事項をポートフォリオに記録し、指導者より点検および指導を受ける。学修ノートに実習で得た知識を書き加え、整理する。 【実習内容達成度自己評価】最終日にループリック（セルフチェック票）に記入し、提出する。 各科での実習終了後、レポートを作成し提出する。全実習終了後には、全体を通しての反省および感想を提出する。 II 全体の行動目標（詳細は実施要項に示す） 1. 歯科衛生士の基本姿勢を実践できる (1) 時間の遵守 (2) 自己の健康管理 (3) 言葉づかい (4) 身だしなみ (5) 守秘義務 2. 診療体系を理解し、実践できる (1) 診療前準備、および後片付け (2) 受付業務、患者の受診準備 (3) 基本的診査器具の準備 (4) 診査診断の補助 (5) 診療の流れに応じた補助・介助		

	<p>(6) 使用器材の管理</p> <p>(7) 薬剤の種類、用途、保管方法</p> <p>(8) 消毒・滅菌方法</p> <p>(9) 医療廃棄物の取り扱い</p> <p>3. 各科の診療内容を理解する</p> <p>4. X線撮影法を理解し、補助ができる</p> <p>(1) X線撮影装置の種類</p> <p>(2) X線撮影の準備と補助</p> <p>(3) X線写真フィルムの現像操作、整理及び保管方法</p> <p>(4) 防護法の実際</p> <p>5. 頻用する歯科材料の取り扱い法に習熟する</p> <p>6. 他職種業務を理解し、チーム医療を実践する</p> <p>7. 感染予防対策を理解し、実践する</p> <p>8. 患者への接し方を理解し、実践できる</p>
評価方法	<p>本試験 50%、実習評価 50% (実習参加状況・ルーブリック・学修ノート・各科レポート)</p> <p>評価方法の詳細はオリエンテーション時に説明します。</p> <p>各診療科における実習に対するフィードバックは随時個別に行います。</p> <p>試験に対するフィードバックは掲示で行います。</p>
教科書	専門および基礎科目教科書
参考書	随時紹介
問い合わせ 連絡先	<p>山本：月～金 12：50～13：30 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 3号館 2F 山本研究室</p> <p>片岡：月～金 12：50～13：30 kataoka@kdu.ac.jp 3号館 2F 片岡研究室</p> <p>関端：月～金 12：50～13：30 sekibata@kdu.ac.jp 3号館 2F 教員研究室</p> <p>長谷：月・木・金 16：40～17：00 nagatani@kdu.ac.jp 4号館 2F 長谷研究室 (国試対策室)</p> <p>不在時、実習欠席時の連絡方法については、オリエンテーションで説明します。</p>